

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		自動車運転免許取得・改造費助成				所管	福祉部 障害福祉課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度	
		[小 柱]					[事業開始] 昭和 5 3 年度	
		[施 策]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区障害者地域生活支援事業実施要綱			
	事業対象	・改造費：上肢・下肢・体幹2級以上 ・免許取得費：身体障害者手帳3級以上（内部は4級以上、下肢・体幹は5級以上で歩行困難な者）、愛の手帳4度以上						
	事業目的	自動車改造費及び自動車運転教習費の一部を助成し、心身障害者の日常生活の利便や社会活動への参加促進を図る。						
	事業内容	・改造費：重度の身体障害者が就労等のため、自ら所有し運転する自動車の操向装置及び駆動装置等の改造にかかる費用の一部を助成する（限度額133,900円）。 ・免許取得費：心身障害者が自動車運転免許を取得する際に要する費用の一部を助成する（限度額164,800円）。						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	国・都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)			目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度
	活動指標	改造費申請者数 人			2	0	2	0
		免許取得費申請者数 人			1	2	1	0
	成果指標	改造費給付者数 人			2	0	2	0
		免許取得者数 人			1	2	1	0
	決算額 (単位：千円)				326	433	1	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			900	833	1,278	
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			1	1	1	
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			325	433	0	
		総経費			1,226	1,267	1,279	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0	
		その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			166	205	0	
一般財源（区負担額）			1,060	1,062	1,279			
前年度から改善した事項		助成の相談があった際には、助成内容・目的等を理解してもらうだけでなく、申請から決定までに時間がかかることのないよう、申請手順等の詳細な説明を行った。						
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	25年度においては、助成の相談は受けていたものの、助成希望者の都合から申請まで至らず、助成実績はなかったところである。例年、実績の多い事業ではないが、心身障害者本人が地域で自立した生活をする一助となると考えられる。					
	効率性	3	助成の相談を受けた段階で、助成希望者に対して、助成内容、申請手順等を詳細に説明することで、申請から決定までに時間がかかることのないよう、効率的な事務執行に努めている。					
	手段の適切性	3	助成が事後であるため、助成額相当分を一時的に本人が負担することになるが、改造後の自動車の状況や免許取得の有無を確認することは助成を行う上で必須であり、適正な助成を担保するには現状の方法が適切と考える。					
	目的達成度	1	申請まで至らなかったものの、助成の相談は受けていた。25年度においては助成実績はなかったが、例年、数件の申請は受けているところであり、今後も申請が見込まれるものである。					
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
心身障害者が活動範囲を広げ、地域で自立して生活するには、自動車は有効な手段であり、事業の存在自体が心身障害者の社会参加を促すことにつながる。助成実績は少ないながらも、例年、相談・申請は受けており、心身障害者の社会生活を拓くための基盤整備事業として、引き続き必要なものとする。						維持		